



With

第26号(2025年度NO.6) 令和8年3月13日(金)発行

3月を迎え暦の上ではもう春です。七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校では、卒業式と修了式の時期を迎えます。今年度も残りわずかとなりましたが、児童生徒は学年のまとめの学習、そして新学年を迎えるための学習に取り組んでいます。

去る2月25日(水)、北斗市総合文化センターかなでーるにて今年度最後の本校部会と分校部会合同の第4回学校運営協議会を開催しました。七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校両部会の学校運営協議会委員の皆様が一同に会するのは、6月の学校運営協議会以来となります。御参加いただいた皆様、ありがとうございました。今号では、第4回学校運営協議会の内容についてお知らせいたします。

第4回学校運営協議会 ～北斗市総合文化センターかなでーる

◆コミュニティ・スクール活動報告

最初に両校のCS担当者より、今年度のコミュニティ・スクールの活動報告がされました。

七飯養護学校(以下本校)から、今年度より新たに取組が始められた活動を含め、道南農家さんからの野菜の寄贈、社会福祉協議会と連携し学校閉庁日期间、学校敷地内の畑の水やりの委託、地域食堂への野菜の提供、沖縄民謡の鑑賞、七養☆アート展(作品展示)、ユニバーサルスポーツ体験会(寄宿舎)、絵本などの読み聞かせ会についての報告がありました。活動後に感謝を伝える手紙によるやりとりを行っていることも報告されました。

七飯養護学校おしま学園分校(以下分校)からは、各学部のWithプロジェクトの取組、四者合同ふれあい大運動会、いさりび鉄道作品展、トラピスト通り並木道ライトアップ見学についての報告がありました。CSが始まって以来、地域の皆様とともに進めてきている活動も多く、児童生徒も見通しをもって参加していることも報告されました。

どの活動においても、学校運営協議会委員の皆さんからの御助言があってこそ成功させることができました。誠にありがとうございます。



◆熟議報告

テーマ:「本校と分校のそれぞれの取組の良さと課題～本校にあって分校にないもの、分校にあって本校にないもの～」

今回は、両校からの活動報告を踏まえて熟議の時間を設定し、上記のテーマに沿って委員の方々や教職員から、御意見をいただきました。良さや課題について、皆様からいただいた御意見を御紹介します。

分校の良さ:「自然豊かな環境の中でのびのび活動ができる」「地域住民との距離が近

く、顔が見える関係が築ける」「小規模だからこそ深い関わりが可能」「地域特性(海・トラピストなど)を生かした活動」、分校の課題:「立地的に来校者が少ない」「交通手段の確保が課題」「熊の出没など環境的制約」「職員数が少なく負担が大きい」「発信しても参加者が集まりにくい」などの項目があげられました。



本校の良さ：「活動のやりとり（手紙・対面など）が豊富」「振り返りを通して次につながる実践」「多様な外部連携（農園・地域行事など）」「交流を重ねることで子どものコミュニケーション能力の向上」、本校の課題：「児童生徒数が多く、個別対応が難しい場面がある」「活動が単発で終わる可能性」「行事過多にならないように計画的な運営が必要」などの項目があげられました。その中で共通して評価された点として、「地域特性を生かした教育活動」「感情のやりとりを大切にしたり」「無理なものは無理と言い合える関係性」という点についても確認がなされています。

今後のアイデアや提案として、「地域行事（清掃・海浜清掃等）への共同参加」「侑愛会職員（約300名）への発信や見学機会の設定」「両校PTA同士の交流」「オンライン交流の利用」「本校と分校の活動の相互体験」「福祉連携や行政施策を活用した移動手段の確保」などがあげられており、次年度以降に引き継いでいきたいと考えます。

熟議の内容を基に、「発信」「移動手段」「継続性」といった課題を踏まえ、垣根を越えた交流や間接的な協力の可能性を考慮し、無理なく計画的に地域との連携を図っていきたいと考えます。

◆令和8年度学校経営方針について

校長より、令和8年度の学校経営方針について説明がなされました。方針を策定するにあたり、管理職だけではなく、教職員全員から意見集約を行った作成過程やその結果について、文書に加えて両校の現状や教職員の思いなどが集約された説明用の動画（「明日をデザインする・学校の20年後の約束」約8分）を交えながら両校共通の方針として紹介されました。

【令和8年度の重点】

「子どもを真ん中に」ワクワクする学校～チームから組織へ～

【育成すべき資質・能力と3つの約束】

- ① 「分かる・見通せる」から、安心できる（知識・技能）
- ② 「できる・選べる」から、自信がもてる（思考力・判断力・表現力）
- ③ 「認めてくれる・つながる」から、うれしい（学びに向かう力・人間性）

大きなビジョンは一つですが、現場に合わせて一番いい形に落とし込み考えられた具体的内容も示されました。それを行うための基盤として、教職員

が心身共に健康であるようにと働き方改革についても触れられており、「余白」を作れることで子どもと向き合う時間を確保できるように、業務の削減や平準化についての説明もされました。

委員の方からは以下のようなご感想、ご意見が寄せられています。

- ・管理職だけではなく、教職員全員で経営方針を検討しているのがすごく良い。
- ・学校は、「6年」「3年」の単位で考えるが、「20年後」と捉えているのが印象的だった。
- ・教職員の負担にも配慮され、安心・安全、働きがいに踏み込んでいる点を評価する。
- ・「子どもを真ん中に」という言葉が保護者としてうれしい。
- ・「CSは学校のエンジン」という言葉が心に残った。
- ・「自分で決める」ことの重要性を再確認した。
- ・映像やデザインによる経営方針の説明が印象的だった。
- ・自己選択の場が多くあったことに気づいた。
- ・毎年、子どものために真剣に考えている姿勢を感じている。
- ・他職種、他機関との連携の必要性。

委員の皆様には貴重な御感想、御意見いただき、令和8年度学校経営方針に御承認いただきました。



令和7年度の学校運営協議会を無事に終えることができました。これまで4回の協議会を開催し、七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校の児童生徒のために多くの御示唆を頂き、また地域の皆様の多大なる御尽力のおかげで、児童生徒の経験を広げ、学びを深めることができました。本当にありがとうございました。学校と地域が協働し、「地域とともにある学校」の実現を目指すコミュニティ・スクールは次年度も続きます。今後とも、変わらぬ御支援と御協力をお願いいたします。学校運営協議会や学校と地域の協働活動につきまして何かございましたらお気軽に御連絡ください。

（七飯養護学校 0138-65-7004 七飯養護学校おしま学園分校 0138-75-2717）